

地域の人々と 深くつながり、 医療・介護を 提供する

その目的は、地域の高齢化への対応だ。東山区は京都市のなかでも、とりわけ高齢化率が高い。人口約4万人のうち、高齢者（65歳以上）はおよそ1万2千人。高齢化率33.5%と、京都市平均の28.2%を大きく上回り、その数は年々増加している。シームレスに医療と介護を受けることができること、環境づくりは、地域が必要としていることなのだ。

地域の人々と 深くつながり、 医療・介護を 提供する

2017年に改築された京都久野病院。2019年には介護療養病床を介護医療院に転換。医療病棟に併設して介護医療院があるため、医療と介護の連携がスムーズになった。医療行為が必要となった際は、速やかに京都久野病院の病棟に転棟することができ、症状が安定すれば再び介護医療院に移ることもできる。



リニューアルされた病棟はスタンダードな病室よりも一回り広くなるなど、全体的にゆったりとした印象。廊下の長さは85mあり、フロアが回廊になっているので歩いていってリハビリになるように工夫されている。屋上庭園や遊歩道もあり、リハビリ室以外でも運動が楽しめるようになっている。



京都久野病院から徒歩2分ほどの場所にある「高齢者福祉施設 レット・イット・ビー」（左）と「機能訓練型デイサービス ロコモーション」（右）。それぞれビートルズとリトル・エヴァの曲から、久野理事長が命名したそう。「音楽の良いところは、その曲を聞くとすぐにその当時にタイムスリップできること。若かりし頃の1970代のヒットソングに乗り、当時に戻っていただきたいと思い名付けました。

ほかにも、2018年には関連の社会福祉法人から「高齢者福祉施設 レット・イット・ビー」をオーブンしている。ビートルズの曲から名付けられたこの施設は、特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護、ショートステイ、さらには認知症高齢者グループホームの機能も有する。

「この施設は、高齢者の方々の今までの生活や歴史を尊重し、あらゆるがままに、過ごしていただける場所になれば」という思いでつくりました。これも患者様の声がきっかけです」。

さらにコロナ禍に見舞われた昨年も「訪問介護事業所 笑門」、「機能訓練型デイサービス ロコモーション」を開設。現在は「京都久野病院」が一般病床2病棟120床、回復期リハビリテーション病棟1病床55床、医療療養病床1病棟55床。併設する「京都久野病院 介護医療院」が3病棟165床。近隣には前述のレット・ビーやロコモーションなど、8か所の介護関連施設を運営し、地域の医療・介護ニーズの受け皿となっている。

地域の医療・介護の担い手として

* * *

京都観光の定番スポット、伏見稻荷大社から、お店や住宅が並ぶ通りを歩いて5分ほど。東山区の南端に位置する「京都久野病院」は、隣接する伏見区、南区を含む周辺地域の中核病院として「二・二・二」救急医療を担っている。

1952年、久野医院として開院。1965年に40床の久野病院となり、その後も療養病床の新設、訪問看護ステーションやグループホームの開設など、時代に合わせて規模を広げてきた。近年も病棟の改築や介護療養病床から介護医療院への転換、高齢者福祉施設や機能訓練型デイサービスのオープンと、新たな取り組みが続いている。

京都久野病院の現状

地域医療・介護の取り組みを進めてきたのが久野成人理事長。京都久野病院の院長でもあり、整形外科医としても、日頃から多くの高齢者の方々に接している。これまで行ってきた施策はどれも、そうした方たちが教えてくれたものだと言う。

「例えば足を骨折された認知症の患者様。手術後、リハビリの時には歩行訓練をしていただきますが、リハビリ以外で徘徊されると転倒の危険がありますのでベッドに戻っていただかなくてはなりません。せっかくの歩く機会ですので、自分のペースで歩いたりできる施設があると良いのではないかと思い、つくったのが、認知症の方のグループホーム（グループホーム「ふかくさ」2009年開

て高齢化に対応していく一方、昨年は新型コロナウイルス感染症対策に多大な資源を割かなければならぬ状況になった。昨年には院内感染が発生したこともあり、現在は高レベルの感染対策を実施。地域のワクチン接種にも注力している。

この経験が医療機関としての糧となつたこともある。「一つが感染対策。今後新型コロナウイルス感染症が治まつたとしても、ウイルス疾患はなくならない。施設内の徹底した感染対策は今後の運営にも役に立つはずだ。

そしてもう一つ、久野理事長が挙げるのが職員の団結と地域との関係の深まり。「院内感染発生時、職員一同結して本当に頑張ってくれました。また、患者様や地域の方々からもたくさん励ましの言葉をいただきました。本当にありがたいことですね」。

そうした状況の中にあって、久野理事長は運営する医療・介護施設の役割をこのように話してくれた。

「多様性が求められる中、地域の人々と深くつながることで病院を支えていただき、この地域の医療・介護ニーズに応じそれを実行して還元していくことが私たち病院や施設の役割だと思っていまます」。